



今しかない一瞬を未来にやきつける

写真のある生活。

デジタル化が進み、誰でも気軽に写真を撮ることができるようになりました。今月号の特集では写真の魅力、写真の持つチカラをお届けし、三芳町の魅力を皆さんの力で世界に発信する「写真コンテスト」についてもご紹介いたします。

日本一の広報みよし

今年、広報みよしは日本一となり、テレビやラジオ、雑誌、WEBサイトといった各メディアに取り上げられ、「埼玉県三芳町」が話題になっていきます。

その原動力ともいえる内閣総理大臣賞受賞作品、平成26年11月号の表紙の写真。世界一のもの掘りまつりのワンショットで、一枚の写真の中に三芳町の魅力がすべて詰まっています。が評価されました。いわば写真のチカラで「三芳町」を日本中に広めることができたのです。

そして今、三芳町の魅力を全国に、世界に知ってもらうための一つの手法として11月30日まで、町内の光学レンズメーカー

「株式会社ケンコー・トキナー」と協働で写真コンテストを開催しています。

皆さんのチカラで三芳町が変わる

皆さんがお持ちの三芳町内で撮影した写真や子ども

の写真を世界に配信することで、三芳町のPRにつながります。皆さんの写真のチカラで三芳町を変えていくことができます。チャンスです。

寄せられた作品はフェイスブック「いね！三芳町」で公

せん。

三芳町を散策しながら写真を撮影すれば体を動かすことになり、健康づくりにもつながります。

芸術の秋、スポーツの秋。ふらっとカメラを持ち三芳町の魅力を撮影し、写真のチカラであなた自身を、町を元気にしていきます。

開。この狙いは世界に三芳町の魅力を配信し、三芳町に一人でも「LOVE MIYOSHI」を感じる人を増やすことです。

その一瞬が三芳町の未来を変える

普段の何気ない風景や子どもの表情。当たり前のことが実は三芳町の魅力を伝える「一瞬」かもしれません。その一瞬をとらえた写真は未来に残り、人々の心を動かし、三芳町への心をも動かすことになるかもしれません。



誰でもどこでも簡単にスマホで三芳を切り取る

カメラ付き携帯電話が普及し、誰でもどこでも気軽に写真が撮ることができるようになりました。ただシャッターを押すのではなく、ひと工夫するだけで、素敵な写真を撮ることができます。例えば日常とは違う視点で撮影すると、より魅力的な写真に。上の町内のコスモス畑で撮影。スマホの機能によっては撮影後に編集することができ、より魅力的な作品に生まれ変わります。スマホで撮影した写真も締切が迫った写真コンテストに応募できます。ふるってご応募ください。



SANP撮影会に参加した山内さん一家。子どもの成長の過程を見られるのも写真の魅力のひとつです。

日本一となった平成26年11月号の表紙。三芳町の魅力がギュッと詰まった一枚写真として評価されました。

昭和40年代の三芳町



三芳中学校前（北永井）

丸富士商店街（藤久保）

白菜の出荷準備（竹間沢）

第一分校の授業（上富）

平地林落ち葉掃き（上富）

木の宮地藏緑日（上富）

川越街道沿いの酪農風景（藤久保）

今の回転寿司店前（藤久保）